

1. 研究課題名：低炭素社会に向けた住宅・非住宅建築におけるエネルギー削減のシナリオと政策提言

2. 研究代表者氏名及び所属：村上 周三 ((独)建築研究所)

3. 研究実施期間：平成 20～22 年度



4. 研究の趣旨・概要

エネルギー消費量は、一般に民生、産業、運輸の 3 部門に分類され、そのうち、ただ 1 つ、民生部門（住宅、業務用建築）のみが一貫して増加を続けており、この増加傾向に歯止めをかけることは、日本のみならず世界の各国にとって差し迫った重要な課題となっている。民生部門における省エネ対策の検討を行うためには、各種方策に基づく省エネ効果や民生用エネルギー需要の将来予測を全国規模で実施することが必要である。また、民生用エネルギー消費量削減のための対策には人口動態、建物寿命など長期的に変化する要因が多く関係し、対策が効果を発揮するまでに長い時間を要するものが多い。

そこで本研究では、中、長、超長期的な視点から、住宅・非住宅建築におけるエネルギー消費量の大幅削減の方策を探るため、建築におけるエネルギー消費量の詳細なデータベースをはじめとして、将来人口、社会システム、建築性能、設備機器普及率、利用形態、エネルギー効率基準の規制導入などのエネルギー消費に関連のある最新の資料にもとづいてエネルギー消費量削減のシナリオを提案し、日本各地および日本全体のエネルギー消費量の将来を精度よく推定するとともに、エネルギー消費量削減を現実的に推進するための政策を提言する。

この研究成果は、民生用エネルギー消費量削減に関する政策の基礎資料として積極的に貢献し、持続可能社会の実現に寄与するものと期待される。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 住宅・非住宅建築エネルギー消費量削減のシナリオにもとづいた将来予測と政策提言((独)建築研究所)
- ②～④ 住宅・非住宅建築エネルギー消費量推定法の東京都(サブテーマ 2)・大阪市(サブテーマ 3)・仙台市(サブテーマ 4)を対象とした検証と予測モデルの改良(東京理科大学、大阪大学、東北大学)
- ⑤ 住宅・非住宅建築エネルギー消費量の将来推計手法の開発(慶應義塾大学)
- ⑥ 全国各地の住宅・非住宅建築における室内環境、設備、エネルギー消費量原単位等に関するデータベースの作成(秋田県立大学)

